

# 6月から 戸別収集を開始します

## 収集カレンダーや分別表等は2月ごろ 配布、説明会は3月以降実施予定です

### ◆戸別収集って？

戸別収集とは、可燃物やプラスチック系のごみは各ご家庭から、その他資源物等は資源ステーションから収集する方法です。

県内でも藤沢市、大和市などで実施しています。町内では、先行地域として一色台、牛ヶ谷戸、向原、元町、森戸地区で既に実施しています。



### ◆ごみの減量と負担軽減

可燃物やプラスチック系のごみは自宅の前（道路に面した自宅の敷地内）に出す、そうすることでごみステーションまで行く負担が減ります。

また、資源物をわかりやすく分けることで、ごみの減量につながります。さらに、ごみステーションがなくなることから、町の景観が美しくなるという利点もあります。

### ◆今後の予定

現在は昨年11月以降、町内会役員への説明や、資源ステーションの位置などを調整し、準備を進めているところです。

2月ごろには全世帯への収集カレンダーや分別表等を配布して戸別収集の周知を図っていく予定です。

また、住民を対象とした説明会も3月以降実施する予定です。日程等の詳細は、後日広報等でお知らせします。

問合せ クリーンセンター

☎876-11153



# 「あいさつ運動」へのご協力ありがとうございます



## あいさつはコミュニケーションの第一歩

「人」という字は「人」と「人」が支え合った形からできた漢字とも言われているように、人は一人で生きていくには難しく、困った時に助けてくれるのも人、助けることができるのも人であるはずです。では、身近な人が発信しているSOSの信号に気付くためにはどうしたら良いでしょうか。

まずは簡単な「あいさつ」から会話の一步を始めてみるのはいかがでしょうか。返事があるかないかではなく、相手の態度や顔つきで何かを感じたら、次の一步を進めてみましょう。家族や友達の変化に、いち早く気付いてあげられるのはあなたしかいないかもしれません。

葉山町青少年問題協議会では、「あいさつ運動」の推進と継続が青少年にとって非常に大切であるということ、また「あいさつの飛びかう町、葉山」を目指し、この運動を続けています。あいさつ運動の一環として、8月に募集した「あいさつ標語」には、134人から184作品の応募があり、以下の作品が優秀賞に選ばれましたので紹介します。

問合せ 生涯学習課 ☎内線7232

### 【優秀賞】（敬称略）

○どうしたの？ その一言で 笑顔咲く

長澤 悠真（葉山小6年）

○あいさつは こころをつなぐ すてきなじゅもん

木内 美（上山口小2年）

○あいさつが 町に広がり わになるよ

立和名 美怜（長柄小2年）

○ありがとう いわれてうれしい がんばれる

印南 大河（一色小4年）

○すれちがう おはようの一言 心がホッ

中嶋 花菜（葉山中2年）

○ごめんねは 心につける

鎌上 櫻（南郷中1年）

### 【特別賞】（敬称略）

○ごめんねと 先に言えたら かつこい

阿部 草馬（葉山小4年）

○あいさつは いつも元気で うれしいね

えがおで おはようございます

宮崎 葵（上山口小4年）

○あいさつで つながる地球を 葉山から

鈴木 智歩子（長柄小6年）

○注意する その一言も 思いやり

星 心愛（一色小5年）